

令和5年8月29日、総理大臣官邸2階大ホールにおいて、国土交通省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び環境省が内閣府総合海洋政策推進事務局の協力を得て実施している「第16回海洋立国推進功労者表彰」（内閣総理大臣賞）の表彰式が行われ、以下の6名が受賞されました。

※ 本表彰は、海洋基本法及び海洋基本計画に基づき、海洋に関する分野で顕著な功績を挙げた個人・団体を表彰し、その功績をたたえ広く世に知らしめることにより、国民が海洋に対する理解を深めて頂く契機とすることを目的として、平成20年度より実施しております。

日時：令和5年8月29日（火）15時00分～15時30分

場所：総理官邸2階大ホール

出席者：谷内閣府特命担当大臣（海洋政策）、栗生内閣官房副長官、
宮澤内閣府総合海洋政策推進事務局長、海谷国土交通省海事局長等

受賞者：

1. 「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野

○ 安藤 健太郎（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

（功績概要）IOC/WESTPACの活動等を通じた日本の国際的プレゼンスの向上

○ 柴山 知也（早稲田大学）

（功績概要）津波・高潮の現地調査と防災策の提案により海洋防災に貢献

○ 角 洋一（横浜国立大学）

（功績概要）コンテナ運搬船の更なる大型化を可能にした強度基準策定を牽引

○ 山口 隆司（長岡技術科学大学 技学研究院）

（功績概要）水環境保全・水資源利活用技術の開発

2. 「海洋に関する顕著な功績」分野

○ 末永 慶寛（香川大学 創造工学部）

（功績概要）自然エネルギー（潮流）で豊かな海を創造！

○ 大内 一之（金沢工業大学客員教授）

（功績概要）風力を利用する硬翼帆やプロペラ効率を上げる付加物の開発により、大型船の省エネルギー化に貢献



第16回海洋立国推進功労者表彰の様子